

平成 2 2 年度事業計画

(平成 22 年 4 月 1 日 - 平成 23 年 3 月 31 日)

I. 定期学術集会・総会の開催

第 57 回日本実験動物学会総会を下記のとおり開催する。

会 期 : 平成 22 年 5 月 12 日 (水) ~ 14 日 (金)
会 場 : 京都テルサ
会 長 : 芹川忠夫 (京都大学大学院医学研究科附属動物実験施設)
参加者 : 約 1,000 名を予定

II. 通常総会、理事会、評議員会の開催

通常総会 (1 回)、理事会 (2 回)、評議員会 (1 回) を開催する。

III. 定期刊行物の発行

機関誌「Experimental Animals」および「実験動物ニュース」を下記のとおり発行し、
会員に配布する。

発行年月日	巻	号
平成 22 年 4 月 1 日	59	2
平成 22 年 5 月 1 日	59	3 (サプリメント号)
平成 22 年 7 月 1 日	59	4
平成 22 年 10 月 1 日	59	5
平成 23 年 1 月 1 日	60	1

IV. 研究の奨励、業績の表彰

(1) 第 22 回学会賞受賞者を表彰する。

1) 功労賞 (1 名)

倉林 讓

2) 安東・田嶋賞 (1 名)

鳥居隆三

「実験動物としての霊長類への発生工学的的手法導入による室内計画的人工繁殖と
再生医療研究への活用」

3) 奨励賞 (2 名)

高田豊行

「多因子形質解析とその実験モデルマウスの開発」

橋本晴夫

「糖尿病のトランスレーショナル研究支援のための IRS-2 ノックアウトマウスの
系統化と特性検索に関する研究」

4) 2009 年 Experimental Animals 最優秀論文賞

目加田和之、阿部訓也、村上垂弓、中村哲枝、中田初美、森脇和郎、小幡裕一、
吉木 淳

「C57BL/6 亜系統間の遺伝的相違について」

(2) 2009 年日本実験動物学会国際賞の表彰を行う。

受賞者(6名)

シンガポール : Judy C. G. SNG

中国 : Xiao-yang Zhao

台湾 : Wei-Chun Li

インド : V. S. Harikrishnan

韓国 : Jong-Hwan Park

フィリピン : Eleonor F. Avenido

(3) 第23回日本実験動物学会功労賞、安東・田嶋賞ならびに奨励賞の推薦受付、選考を
行う。

(4) 2010 年 Experimental Animals 最優秀論文賞の選考を行う。

(5) 2010 年日本実験動物学会国際賞の選考を行う。

V. 委員会等の活動

委員会、ワーキンググループを設置し、それぞれの目的に応じた活動を実施する。

- a. 編集委員会
- b. 学術集会委員会
- c. 財務特別委員会
- d. 疾患モデル委員会
- e. 国際交流委員会
- f. 広報委員会
- g. 動物福祉・倫理委員会
- h. 定款・細則・規程等検討委員会
- i. マウス・ラット感染対策委員会
- j. 教育・研修ワーキンググループ
- k. 動物アレルギー検討ワーキンググループ
- l. 新公益法人化ワーキンググループ

VI. 関連学協会との連携

- (1) 日本学会議の活動に協力する。
- (2) 社団法人日本実験動物協会、日本実験動物技術者協会、日本実験動物環境研究会およびその他の国内外関連学会・協会の活動に協力する。
- (3) 国際実験動物科学会議 (ICLAS) における活動を継続する。
- (4) アジア実験動物学会連合 (AFLAS) における活動を継続する。
- (5) 米国実験動物学会 (AALAS) など、海外関連学協会との学術・情報交流を推進する。
- (6) 国立大学法人動物実験施設協議会、公私立大学実験動物施設協議会等の活動に協力する。
- (7) 財団法人実験動物中央研究所 ICLAS モニタリングセンターの活動に協力する。

VII. 新公益法人化

新公益法人化のための準備を進める。

VIII. その他

実験動物の飼育状況に関する調査を行う。